

第50期年次報告書 2021年1月1日~2021年12月31日



株主の皆さまへ

創立50周年 半導体設備投資は引続き好調 中国へ子会社設立



代表取締役社長 池田 俊夫

- ・顧客ニーズの把握と求められる製品の開発
- ・継続した原価低減による利益率の向上

ト業績及び事業報告

2021年の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の収束がみえず、前年に引続き先行き不透明な状況で推移いたしました。一方、当社グループが属する半導体業界におきましては、世界的な半導体不足という状況のなか、各半導体メーカーが大きな設備投資を次々と発表するなど、堅調に推移いたしました。その結果、当社の主力セグメントでありますプロセス機器事業におきましては増収となりました。

金型・樹脂成形事業におきましても、コネクターなどの樹脂製品が世界的に不足となったこと等により、増収となりました。表面処理用機器事業におきましては、プリント基板メーカーの設備投資は回復傾向にありましたが、年前半の工場稼働率の低下が影響し減収となりました。以上のことから2021年度売上高は増収となりました。

▶ タツモグループ中期経営計画 TAZMO Vision 2024

目まぐるしく変化する半導体業界の 状況を踏まえ、グループ中期経営 計画を見直しいたしました。 連結数値目標(単位:百万円)

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高	25,338	30,019	33,852
プロセス機器事業	19,857	24,027	27,445
半導体装置	6,003	7,765	9,935
搬送機器	6,122	6,653	7,175
洗浄機	3,037	4,452	4,198
コーター	4,693	5,157	6,137
金型·樹脂成形事業	1,701	1,991	2,207
表面処理用機器事業	3,779	4,000	4,200
経常利益	2,503	3,847	4,641
経常利益率	9.9%	12.8%	13.7%

1

利益面におきましては、利益率の高い半導体製造装置の売上が順調に進んだことや、搬送ロボットなどの量産効果等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも増益となりました。

▶今年度の見通し

2022年度は、引続き世界経済の先行きは不透明であり、依然として海外への渡航制限など十分な営業活動ができない状況は続いておりますが、当社グループが属しております半導体業界におきましては、半導体メーカーからの装置の引合状況は引続き高水準で推移しております。当社2021年度受注残高も270億円を超える過去最高水準となっており、世界の半導体設備投資は今年度以降も堅調に推移していくものと予想されます。また、プリント基板メーカーの設備投資も回復してきており、今後も受注が増えてくるものと予想しております。

当社といたしましては、受注済みの案件を確実にこなし、少しでも利益を伸ばせるよう工程管理の強化や

原価低減を進めるとともに、半導体メーカーやプリント基板メーカーの積極的な設備投資を確実に受注につなげ売上・利益を伸ばしてまいります。また、昨年12月に中国での子会社設立を決議いたしましたが、この子会社を早く立ち上げ、来年度以降の業績を伸ばしていけるよう努めてまいります。

▶株主の皆さまへ

当社は、2022年2月26日で創立50周年を迎えることができました。これまでには大変厳しい時期もありましたが、無事50周年を迎えることができましたのも、ひとえに株主の皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。現在、半導体業界は非常に好況に推移しておりますが、社是であります『挑戦』の気持ちを忘れず、今後50年、100年と挑戦し続ける企業を目指してまいります。

これからも株主の皆さまのご期待に添えますよう、グループ全社結束して社業に精励してまいりますので、より一層のご支援ご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▶ カーボンニュートラルへの取り組み

- ・中期経営計画期間(2022年~2024年) 本社・井原各工場屋上への自家消費型太陽光発電設備の設置 により、2020年度CO2総排出量の20%削減
- ・長期的なカーボンニュートラルの実現を目指した取り組み <今後の取り組みとして検討中の施策> 全社照明設備のLED化の推進

保有森林 (岡山県真庭市 415,794㎡) の活用 (森林経営計画に基づく森林環境保全)

再生可能エネルギー由来の電力などへの切り替え 設備更新などによる電力効率化への取り組み 対応部署の新設(カーボンニュートラルを含めたサスティナビ リティへの対応)

▶ 1株当たり配当金の推移



▶ 2021年度 連結業績

当連結会計年度における経営環境は、経済政策の効果により中国・欧米などで緩やかな回復がみられるものの、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染者の増加により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、サーバーや5G(次世代移動通信)、リモートワーク向けなどIT投資用途の電子部品の需要の拡大による設備投資は堅調に推移いたしました。

このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動に注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は220億1百万円(前期比12.7%増)の増収となりました。利益面では、利益率の高い装置が売上計上されたことや、原価低減活動の効果により、営業利益20億92百万円(前期比10.9%増)、経常利益22億18百万円(前期比20.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益17億49百万円(前期比3.3%増)となりました。

■搬送装置部門

■洗浄装置部門

12,600

2,411

1 905

2,553

第48期

■ 半導体装置部門

14.675

2 547

2.760

4.046

第49期

■コーター部門 (百万円)

17.528

第50期

2021年度 連結業績

	2021年度 ご参考			
	当連結会計年度 自 2021年 1月 1日 至 2021年12月31日	前連結会計年度 自 2020年 1月 1日 至 2020年12月31日	対前期増減率	
売上高	22,001 百万円	19,516 百万円	12.7%增	
営業利益	2,092 百万円	1,886 百万円	10.9%增	
経常利益	2,218 百万円	1,849 百万円	20.0%增	
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,749 百万円	1,693 百万円	3.3%增	

▶ セグメント別概況

プロセス機器事業

半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、コロナ禍でリモートワーク向けなどのIT投資関連の需要が伸びたことによる設備投資が堅調であったため、売上高は46億3百万円(前期比13.8%増)となりました。

搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、顧客である半導体 装置メーカーからの受注が好調であり、売上高は 55億26百万円(前期比3.9%増)となりました。

洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、ウェーハメーカー の設備投資が堅調であり、売上高は37億30百万円 (前期比35.2%増)となりました。

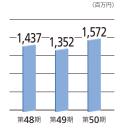
コーター部門

コーター部門につきましては、コロナ禍で海外出張制限があるなか、海外メンバーを中心に装置納入の立ち上げ対応したことにより、売上高は36億66百万円(前期比43.9%増)となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は175億28百万円(前期比19.4%増)、営業利益19億92百万円(前期比14.8%増)となりました。

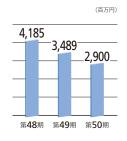
金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、中国経済の減速やスマートフォン関連の需要低迷の影響がありましたが、コスト削減効果があり、売上高は15億72百万円(前期比16.3%増)、営業利益87百万円(前期比119.9%増)となりました。

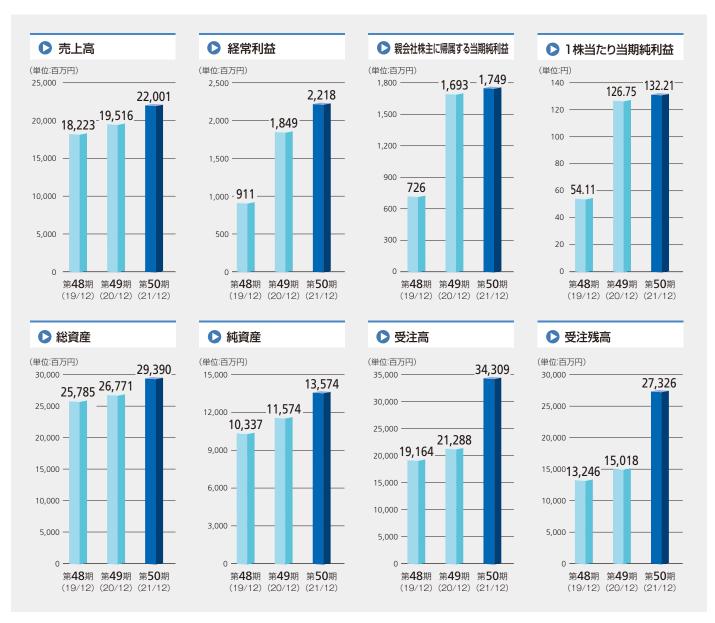


表面処理用機器事業

表面処理用機器事業につきましては、新型コロナウイルスの影響でブリント基板メーカーの設備投資が遅延し、製造拠点の中国工場の稼働率が前半に大幅に低下したことから、売上高は29億円(前期比16.9%減)、営業利益13百万円(前期比86.7%減)となりました。受注においては、車載用ブリント基板の設備投資の遅延があったものの、現在は回復傾向にあります。



財務ハイライト(連結)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	(単位:百万円)	
前連結会計 年度末 (2020年12月31日)	当連結会計 年度末 (2021年12月31日)	
19,650	22,075	
7,120	7,314	
26,771	29,390	
12,154	13,457	
3,042	2,357	
15,196	15,815	
11,485	13,041	
2,724	2,724	
2,645	2,659	
6,571	8,104	
△ 455	△ 446	
△ 81	318	
0	0	
△ 81	318	
171	214	
11,574	13,574	
26,771	29,390	
	年度末 (2020年12月31日) 19,650 7,120 26,771 12,154 3,042 15,196 11,485 2,724 2,645 6,571 △ 455 △ 81 0 △ 81 171 11,574	

⁽注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自2020年 1月 1日 (至2020年12月31日)	当連結会計年度 (自2021年 1月 1日) (至2021年12月31日)
売上高	19,516	22,001
売上原価	14,216	16,068
売上総利益	5,300	5,933
販売費及び一般管理費	3,413	3,841
営業利益	1,886	2,092
営業外収益	62	165
営業外費用	99	39
経常利益	1,849	2,218
特別利益	46	_
特別損失	128	_
税金等調整前当期純利益	1,768	2,218
法人税、住民税及び事業税	218	357
法人税等調整額	△ 162	75
当期純利益	1,712	1,785
非支配株主に帰属する当期純利益	18	35
親会社株主に帰属する当期純利益	1,693	1,749

⁽注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要&株式情報

▶ 会社概要(2021年12月31日現在)

商 号 タツモ株式会社

本 社 所 在 地 〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地

設 立 1972年2月 資 本 金 2.724.067千円

事業内容半導体製造装置、搬送ロボット、液晶製造装置、精密金型及び樹脂

成形品などの開発・製造・販売

従 業 員 数 354名(連結1.099名)

営業所・工場及び支店 第1工場・第3工場・第5工場/東京営業所

子 会 社 プレテック株式会社 TAZMO INC.

上海龍雲精密機械有限公司 TAZMO VIETNAM CO.,LTD.

龍雲亞普恩科技股份有限公司 龍雲阿普理夏电子科技(上海)有限公司

株式会社ファシリティ 富萊得(香港)有限公司 富萊得科技(東莞)有限公司 FACILITY HANOI CO.,LTD.

FACILITY HANOI CO.,LTD. 株式会社クォークテクノロジー

主要取引銀行

株式会社中国銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社商工組合中央金庫 日本政策金融公庫

▶ 取締役(2022年3月25日現在)

池	田	俊	夫
佐	藤	泰	之
亀	山	重	夫
曽	根	康	博
多	賀	義	明
吉	國	久	雄
岡		友	和
藤	原	準	Ξ
石	井	克	典
	佐亀曽多吉岡藤	佐亀曽多吉岡藤山根賀國原	佐 事 毒 山 量 妻 毒 妻 毒 妻 点 妻

▶ 株式の状況(2021年12月31日現在)

株式の総数

発行済株式の総数	13,508,300株
朱主数	4.543名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社大江屋	2,235,000 株	16.54 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,647,600	12.19
弘塑科技股份有限公司	800,000	5.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	642,300	4.75
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	336,600	2.49
中銀リース株式会社	304,500	2.25
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS USITS ASSETS	300,000	2.22
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	270,100	1.99
鳥越 琢史	256,400	1.89
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	255,400	1.89

(注) 1. 持株比率は自己株式数(1,749株)を控除して算出しております。
2. 自己株式には役員株式給付信託(BBT)及び従業員株式給付信託(J-ESOP)の導入に際して設定した、株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)が保有する当社株式270,100株を含んでおりませんが、連結財務諸表においては自己株式として処理しております。







1 単元未満 279 名
1 単元以上 3,020 名
5 単元以上 526 名
10 単元以上 563 名
50 単元以上 58 名
【100単元以上 64 名
500 単元以上 9 名
1,000 単元以上 20 名
■ 5,000 単元以上 4 名
白己株式 1 749 株は 10 単元以 Eに

※自己株式 1.749 株は 10 単元以上に 含めて記載しております。

タツモ株式会社

〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地

▶ 株主メモ

事 業 年 度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 (〒541-8502)

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

●お問い合わせ先0120-094-777(フリーダイヤル)

●各種お手続き用紙のご請求 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託 銀行のインターネットでも24時間承っております。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/

公 告 の 方 法 電子公告

公告掲載URL https://www.tazmo.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

[手続き書類のご請求方法]

■ インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/

ホームページのご案内

当社のホームページでは最新ニュースや製品紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスを設け、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるコンテンツを掲載しております。下記のアドレスよりご覧ください。





https://www.tazmo.co.jp/